

表 第7代WTO事務局長選をめぐる動き

事務局長選候補者氏名	出身国	役職	選考結果			一般理事会 (11/9予定)	2020年 → 2021年		臨時一般理事会 (2/15)	3月1日
			1次 (9/7-9/16)	2次 (9/24-10/6)	最終 (10/19-10/28)		1月21日	2月5日		
ヘスス・セアデ	メキシコ	外務次官	●	-	-	米国で政権交代 米国内閣の反対でコンセンサスが形成できず延期に。 11月末にユ・ミョンヒ候補の辞退報道が出るも、公式声明は出ず。	米国で政権交代	ユ・ミョンヒ候補が、バイデン政権下の米国との協議を経て辞退を宣言。 米国通商代表部(USTR)がオコンジョ・イウェアラ氏の支持を表明。	-	オコンジョ・イウェアラ新事務局長就任
ンゴジ・オコンジョ・イウェアラ*	ナイジェリア	元Gaviワクチンアライアンス理事長、財務相/外相	○	○	米国以外の加盟国が支持				◎	
ハミド・マムドゥ	エジプト	弁護士・大学教授、元WTO職員	●	-	-				-	
トゥドル・ウリアノブスキ	モルドバ	WTO大使、元外相	●	-	-				-	
ユ・ミョンヒ*	韓国	通商交渉本部長	○	○	米国が支持					
アミナ・モハメド*	ケニア	スポーツ・文化・遺産長官、元外務長官	○	●	-				-	
モハメッド・アル・トゥワイリ	サウジアラビア	王立裁判所顧問、元経済計画相	○	●	-				-	
リアム・フォックス	英国	保守党議員、元国際貿易相	○	●	-				-	

(注)①*は女性。②○は選考通過、●は落選を示す。③アゼベド事務局長が8月末に退任して以降は、4人の事務次長が事務局長を代行。

(出所)WTOウェブサイトおよび各種報道を基に作成